



秋さながらの冷氣

明日あたりから回復

また蒸し暑い天候になる
小名濱測候所の打診

二、三日この方の天候が秋さながらの冷氣にかへり昨二十八日の日曜の如き海水浴場は割合に閑散であつた時ならぬこの冷氣が何時まで続くのか小名濱測候所の語るところは高氣壓が千島沖の南東洋上に七六四ミリの爲め風が

汐に浸つた塩害で

水田十四町歩全滅

植田町の岩間海岸に於て

植田町岩間海岸の水田は同地汐除堤防が充分でないため昨年海水に浸つた塩害をもち越し面積十四町歩に亘る稲草が四面吹き上つてゐる塩分に侵され全部株元から根腐を腐敗し全滅となつた惨状を町出身藤坂本郷太郎氏から平土木監督所に訴へられて右汐除堤防の増築方を陳情する二十七日須藤所長現地に出張その惨害を見て實況を撮影し寫眞を添えて縣土木部に前記堤防増築を訴ふることになつたが被害地十四町歩は今年收穫皆無と云はれてゐる

家庭防空群の下

水掃除

平市八幡小路家庭防空群第二群及び第三群は石橋第三群長並に大家第三群長いづれも卒先その節にあたり過ぐる防空訓練にも好成績を賞されたが

内務工事の検査

内務省河港課の大貫氏は昨二十八日石城郡に出張、縣土木の鈴木書記と共に近く直營で

出廻り近い夏繭の

相場八十圓前後か

先づ六十掛と云ふところで

初秋晩秋には若干高か

濱通りの夏繭出廻りは最も早場の相馬郡原町西部奥部落で上條五日、來月早々取引を見る管で石城地方は八月十日頃から弗々出廻る模様である石双乾繭四倉市場は十五、六日頃関係蚕家の入荷一千貫を見込み引續く初秋繭の産繭で二十五日頃から本格的な開場を豫想されてゐる、同市場の初秋繭は約二萬貫、次で約一ヶ月後の晩秋の約三萬五千貫ぐらゐると云はれてゐるが今年の産繭は近年にない桑の好發

郡農會の後任會長

木村清治氏が小野晋平氏が

石城郡農會では名會長と稱はれた木村清治氏を失ひ遠からず其の後任を選ばれるわけであるが食指を向けられつゝあるは元代議員木村清治氏、現職小野晋平氏が最も有力を唱へられ外に二、三人の人名を挙げられ居るも未だ無難と云ふには至らずして衆望を負ふ木村氏は事情上これを固辞するものと見られ自ら小野氏を推すのであらうと想像されてゐるので結局小野氏でないかと語られてゐる

四市對抗野球

若松市勝利

縣下四市對抗野球戦は昨二十八日午前九時から平商業校庭で催され平市伊藤助役の始球式で競技に入り

若松	0	福島	
平	4	郡山	
福島	5	郡山	
若松	7	0	平

昨年の勝者郡山市の優勝旗は若松に制せられ午後三時戦を終つた

支那單語

これはみな自分のもので、賣買するものであり、這道は自己用、不是買買的でチエートウ、シュー、チー、エント、ブリー、マイ、マイ、ラ、ホオと唱ひられる。

戦地の便り

御厚志に報ずるは

軍旗の下に花を散る

前略、初夏の候後御一同様には御健勝のこと、遙かに御推察致して居ります、先日は御丁寧なる慰問袋を御送り下されまして誠に有難う御座いました、早速御禮を申上げます、早速御禮を申上げたいと思ひ居りますが、軍務多忙の爲に送差上げず居りました、誠に申謝が御座います、御許し下さい、皆様には一に戦地、二に戦地と御厚志を走らせ下され、御禮申上げます、東洋平和確立にと日夜一生懸命御奮闘下される皆様から斯うして内地から欠くことなしに私共を激勵御後援下さる御言葉、御厚志には御一同に對しまして深く感謝させられますと同時に非常な力強さが全身にみなぎらせられるのであります、私共はたゞ感謝申上げ、面水田二百六十一町歩、畑地

永戸組合経更に

石城郡永戸、箕輪組合村は本年度の經濟更生村に指定されることになつたが同村の現勢は人口四千四百五十名、耕地は人口四百五十名、耕地は

精神國民百人一首

白沙村人編

書架を整理して不圖こんなものを見出した、それは現代畫壇の巨匠橋本國雪畫伯が選集印刷したものを森下博士氏が複製頒布したもので其編輯と頒布の理由は畫伯の序文と森下氏の處皇の辭で明瞭であるから兩つながら採録することにした(紙上質問に御答へ致します)

神崎 則 休
通稱與五郎、同じく義士の一人、
逢坂や山さくら戸のひらくより
關には花の名に匂ふらん
室 鳩 巢
備中の人、新助と稱す、後東都に在りて駿台と號す、儒學に深く殿中侍講となる、
みなひとものこころはますかみ
みがかなどなくもりはつべき

疾病歸郷を寄附

平市月見町古川孝平君は疾病のため壯途に着けぬのが残念だとして二十九日金十五圓を市の後援奉公會へ寄附した

軍用機費へ献金

警備隊平發電所の職員夫人達左記は夫君の勤め先きに努力奉仕して得たる金七圓二十錢を軍用機購入費のうちへ献金した

鷲清昇氏逝く

植田町本町清酒醸造業鷲清昇氏が去る廿六日午後六時腦溢血症で醫師の手當てを盡してゐたが翌廿七日午後二時卅三分途に逝去した、氏は昭和二年縣會議員に當選、その後無競争で補欠に推されたるほか生前まで石城標草耕作組合長郡専出出張所、管内煙草聯合

伊藤仁齋

字は源祐、名は維禎、その先は泉州の人京都堀川に移り住む、若冠より性理の學を尊信し、宗儒の説を疑ひ程朱の學を駁撃す、寶永二年三月癸亥七十九古學先生と稱ふ、
世々を経てながめし人のかすにまた
われをもゆるせ秋の夜の月
本居 實 長
伊勢松坂の人、鈴屋舎と號す、醫を以て業とせしが中途より國學に志し終に大をなす、
歿しまのやまとこころを人とは
朝日に匂ふ山櫻花

幼名一蝶

幼名伊三郎、又は助之進と稱す、十五歳の時攝州より江戸に下り、狩野安信の門に入る、其角、嵐雪等と交り深く俳諧を嗜ふ、元禄十一年朝雲の畫をかき綱吉將軍を諷したるより遠島に付せらる、寶永六年九月歿されかへり英一蝶と號す、享保九年正月十三日死す、二本板承教寺に葬る、
まぎらかすうき世のわざのくまどりも
ありとや月のうす墨の梅

新與ダイヤペン付
ウエル萬年筆
二、〇〇以上
ペン先ハ獨特ノ新合金製耐蝕、耐腐、耐摩金ペンニ劣ラズ感觸而モ堅牢、優美、安價ノ三拍子揃ヒニテ眞ニ新興國策製品、
代理店 魁文堂
電話三三三

宿料二圓を踏倒

石城郡好間村の日曹小田坑々夫相馬郡中村町生れ小原東三郎(三)は去る十四日平縣前盆子屋旅館に泊つた金二圓を踏倒して平岩に檢學された



桑園の大敵 スキ虫駆除

興味ある研究が質をなす絶対効果的の桑園の大敵であるスキ虫の発生は本年に入つてから速かに殖えてゐる模様であるが、寄生蜂によるスキ虫駆除につき一昨年来研究を進めてゐる千葉縣農業試験場桑園部の兵藤技手は本年四月からスキ足の根絶に關する次のやうな新しい興味ある實驗を行つてゐると傳へられてゐる、

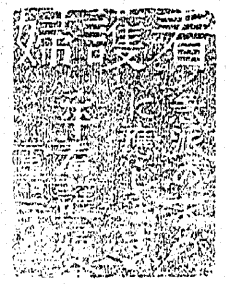
即ち現在第一化の幼虫は二齡乃至三齡で學童の捕獲率仕作業など最も必要であるが、この幼虫の体内には相當数のキマダラヒゲナガコヤシその他有力な寄生蜂が寄生してをり、推測したスキ虫を殺さず寄生蜂の繁殖をはかることも一つの方法である。

しかし春に捕獲するのはすべてが手遅れであつて秋至期に處理するのが最も有効であるこれはスキ虫を桑株に冬を越させないためであるのでその實驗として得たところのものを云へば、

晩秋至期のスキ虫は五割ぐらゐの寄生蜂のため斃死するが、残りの五割は落葉中に冬を越すものと株の隙間に潛入して冬を越すものとがあり、前者は落葉の直後である五割三分がキマダラヒゲナガコヤシに、二割五分がアシカガヒメバチに斃され、春に至らずして全部死滅するが後者の公感ススキ虫が成虫となり産卵して春の第一スキ虫として發生する。

スペイン GHN 元詰 ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)



呼吸器管支調節神経痛痛炎ロイマス
... 痛風 尿酸中耳炎 骨髄炎 腰痛 痔瘡 ...

野村生公

山野邊藥局

附屬産院 新設

妊産婦入院隨意
産科 婦人科
木村病院
電話 一六四番
平市新川町

江尻醫院

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九二番

お醤油は ヤマフル

醬油、味噌、たひら正宗、鮮節食料品

明治生命製糖代理店 山崎與三郎

合 屋 山崎合名會社
電話 本業部 二七〇番 分店部 二七〇番

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

平市田町 電話五二三番

高久病院

院長 醫學士 高久忠

男女 車掌募集 數名

年齢 16—19
未経験者ニテモ可
給料其他委細面談

平市駅前

野崎交通自動車株式會社

電話 三四〇・三四三

カバと洋品類

平市駅前 電話五六

眞砂屋

(前驛市平) (り通道新)

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏 (電話六四一番)

内兒科 院長 鈴木定藏
皮膚泌尿科 院長 高橋俊幸
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事 (急患は此の限りにあらず)

御婚禮着付 和洋結髪

貸衣裳、貸かつらを御利用下さい

パマキントウエア

何卒御用命の程を

手塚美容院

(徒弟入用) 平市新田町

野村生公

呼吸器管支調節神経痛痛炎ロイマス
... 痛風 尿酸中耳炎 骨髄炎 腰痛 痔瘡 ...

山野邊藥局

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 **五十嵐雄二**
平市新川町 電話三六九番

安田系統の帝國海上

帝國火災保險株式會社

海上 代理店 關内正一郎
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話五六番